

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

平林小	学校	児童数	23
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.45	11.09	34.00	31.00	33.00	10.03	128.91	17.78	45.75
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.46	18.33	35.58	33.58	37.00	10.08	130.17	16.58	51.83
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

- ・体力合計点は、大阪市平均・全国平均と比べると下回る結果となった。男子は個人差が見られるが50点を超える児童もいた。女子は50点を以上を維持している児童が多く、安定した結果となっている。種目によっては大阪市平均や全国平均を上回っているものもあるが、全体的には基礎体力の底上げが課題としてあげられる。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合は「好き」「やや好き」と回答した割合が、大阪市平均・全国平均と比べるとやや低い結果となった。「やや嫌い」「嫌い」と回答した割合も一定数いる。
- ・1週間の総運動時間については、全国平均や大阪市平均と比べて男子は運動しない児童が多く、長時間運動する児童が少ないことがわかる。女子は、よく運動する児童も一定数いるが、差が大きい傾向がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・体育の授業では、日常的に遊具を活用して体力向上を図っている。また、かけ足週間やなわとび週間を設け、体力向上にも努めている。今回の結果では、男子の個人差が大きかったことから、今後は、日常の体育の授業や遊びの中で体力をつけていき、運動能力を向上させていく必要がある。
- ・体育の授業では、運動やスポーツをすることの達成感や楽しさを感じられる活動を多く取り入れ授業改善を行っている。教員の声かけだけでなく、児童同士がお互いの良さを認めあえる関わりを大切にしながら、運動への肯定的な意識を高めていく必要がある。
- ・運動場だけでなく芝生広場も活用し、運動する場を整えてきた。また、各学級のボールや、一輪車・竹馬などの遊具も計画的に整備し、運動量の確保に努めているところである。1週間の総運動時間が少ない児童が多いことから、体育の授業や休み時間の外遊びなどを通して、今後も積極的に体を動かす機会を増やしていく必要がある。